



# 最期まで口から食べるために 『もぐもぐチーム』の取り組み



社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団 訪問看護課  
管理栄養士 竹内 洋子

# 世田谷区社会福祉事業団

- 世田谷区福祉・人材研修センター
- 訪問看護
- 訪問介護
- 特別養護老人ホーム
- デイサービス
- 居宅介護支援
- 地域包括支援センター





訪問看護ステーション芦花



訪問看護ステーション北沢



最期まで口から食べる  
ことを支援する  
(事業計画)

訪問看護ステーションけやき



訪問看護ステーション三軒茶屋

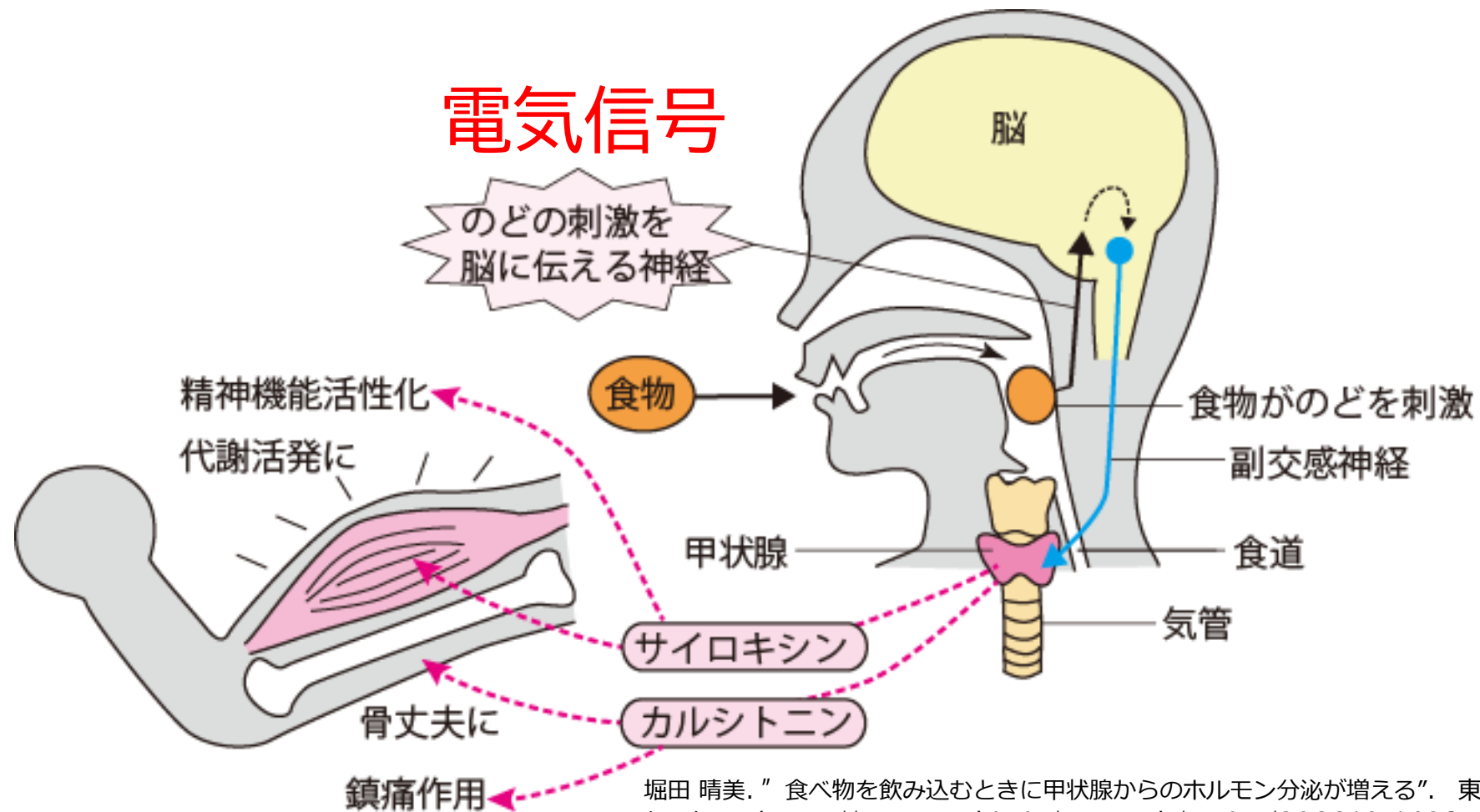


訪問看護ステーションさぎそう



シャジー

# 口から食べると心身の健康維持につながる



堀田 晴美. " 食べ物を飲み込むときに甲状腺からのホルモン分泌が増える". 東京都長寿医療研究センター. <https://www.tmghig.jp/research/topics/202210-1438>

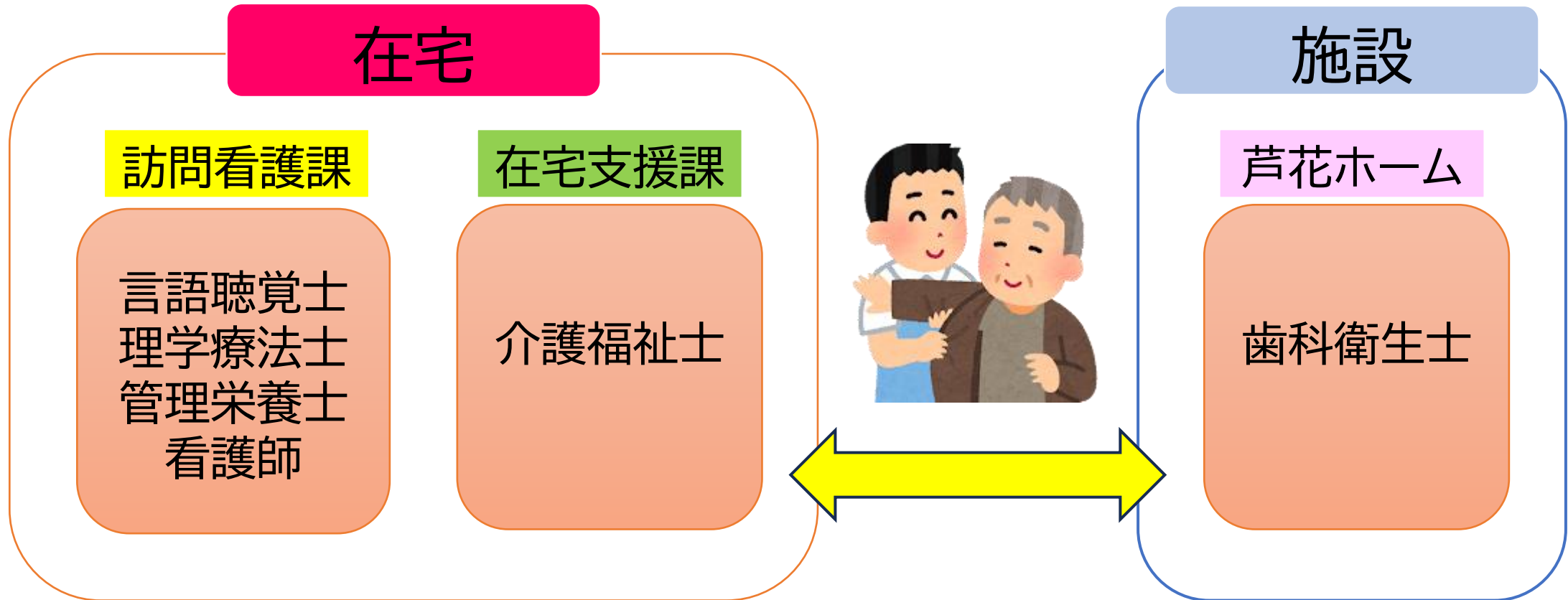
# 「最期まで口から食べる」ことは・・・

多くの人が望むこと  
最も自然な人間の摂理  
人間の尊厳

経口摂取ができない  
嚥下食を我慢して食べる  
低栄養  
誤嚥性肺炎  
意欲の低下

専門職による「もぐもぐチーム」を発足

# 課を超えた多職種チーム







# 活動内容

- ① 症例の検討
- ② 嚥下調整食などの商品の比較・検討
- ③ 食品メーカーによる勉強会の開催
- ④ 企業やその研究機関と協業
- ⑤ 職員へ情報を発信



### ③ 食品メーカーによる勉強会の開催



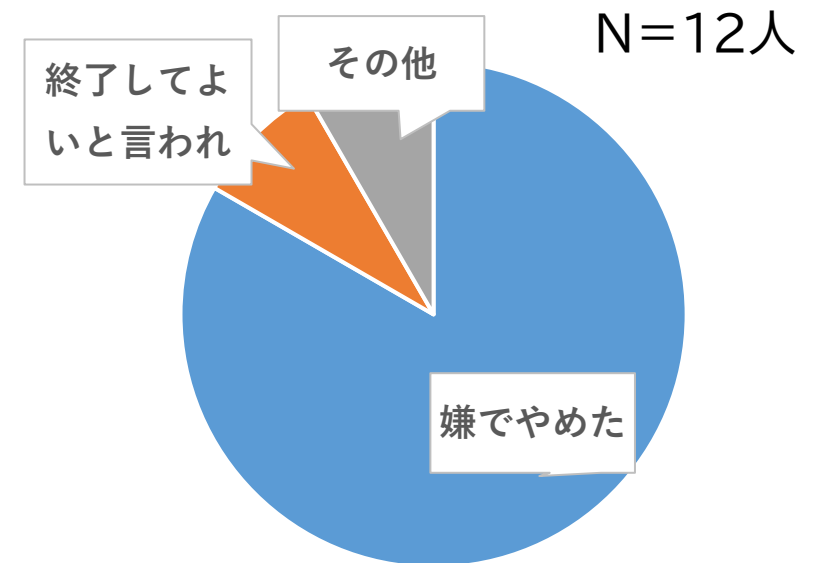
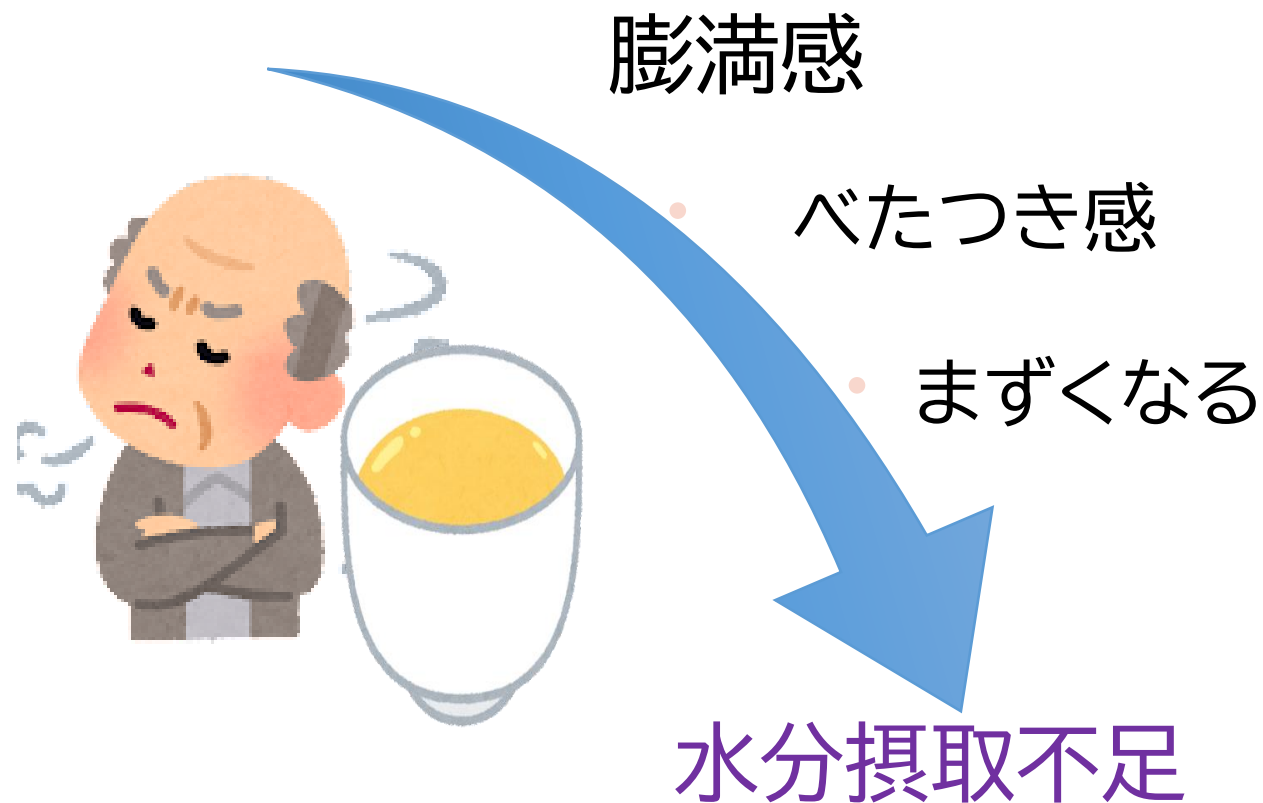
◆とろみ剤とゲル化剤の使い方

◆メーカー別とろみ剤の特徴



# とろみをつける事による水分摂取の低下

世田谷区社会福祉事業団 訪問看護課に  
おけるとろみに関する調査  
【とろみ剤の利用を止めた理由】



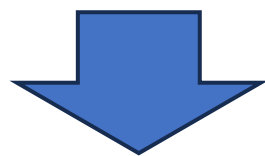
# 咳テスト 不顕性誤嚥の可能性を判別



- ①クエン酸の霧を  
60秒かぐ
- ①咳が何秒出るか
- ②咳が何回出るか

## 咳テストの結果

芦花ホーム 9人に1人に  
むせない誤嚥の可能性?!



在宅でも不顕性誤嚥の可能性が?!





企業や研究機関と協業

# 噛む力を見える化 咀嚼チェックガム



## 咀嚼チェックアプリの使用方法

- 1 測定用台紙の二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み込む
- 2 ガムを用意して、アプリの「測定開始」を選択
- 3 ガムを口に入れてアプリ画面のカウントにあわせて60回咀嚼



Webアプリケーション  
トップページ



- 4 60回の咀嚼が終了したら測定用台紙の上にガムを置く
- 5 スマートフォンまたはタブレットのカメラで撮影する
- 6 測定結果が表示されるまで待つ



ガムの色を識別して  
判定結果を表示します



アルツハイマー型認知症 介護度：3 96歳

2022.11月



【スコア】4.0(まだら)  
【副食】極刻み  
【BMI】15  
湿性嘔声あり



2023.6月 巻舌の練習

2023.10月



【スコア】6.7(均一)  
【副食】刻み  
【おやつ】種類増加  
【BMI】19.2  
湿性嘔声なし  
嚥下機能の改善



# 訪問看護課 咀嚼チェック ガムの取り組み

訪問看護ステーション  
三軒茶屋モデル



# 症例

• パーキンソン病 74才

食事は常食

過去に窒息を何度も起こしている。

奥様によるとよく嚙んでいる。

食事のスピードは早く、詰め込んで食べている。

咀嚼ガムスコア 3.0点

# 訓練内容

- 口腔体操
- 発声訓練
- 構音訓練

咀嚼チェックガム後に加えた訓練

- 一秒に一回噛むことを意識
- 下顎を左右に動かす



# 咀嚼チェックガム スコア

	1回目 2024/6/25	2回目 2024/8/20
画像	 	
スコア	3.0点	6.4点

# 口腔健康管理

- 口腔衛生
- 口腔機能

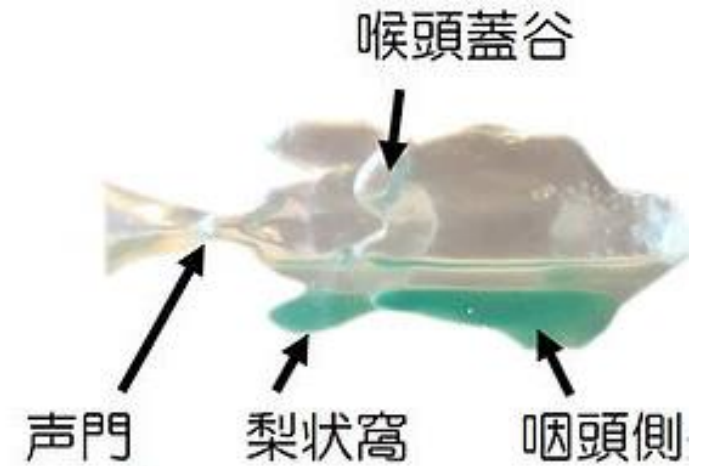
嚥下障害が起こる前の口腔フレイルの状態を見極め、早期に介入して行く。



# 完全側臥位法とは

嚥下障害のある方でも  
誤嚥せずに飲食できる  
可能性が高い  
新たな手技

- 2007年 医師福村が発案
- 2012年 学術論文報告







# 完全側臥位実習

より具体的な支援方法を伝えるために





# まとめ

---

ケアの質を高め、低栄養や口腔フレイルの早期発見早期治療に努めていきたい。

---

施設や在宅サービス利用者の咀嚼に関する課題を、企業の培ってきた技術と事業団の専門性の強みを活かし協業して取り組むことで、広く世の中の「最期まで口からおいしく食べる」ことに貢献していきたい。

---

支援の困難なケースもあるが、食べられることが低栄養を予防・改善し、ADLの改善、食べる楽しみが生きる楽しみにつながることを目指していきたい。

ご清聴ありがとうございました



訪問看護ステーション芦花



訪問看護ステーション北沢



訪問看護ステーションけやき



訪問看護ステーション三軒茶屋

最期まで口から食べる  
ことを支援する  
(事業計画)

訪問看護ステーションさぎそう

